

福島第一原子力発電所の状況

平成 26 年 1 月 27 日
東京電力株式会社

< 1. 原子炉および原子炉格納容器の状況 > (1/27 11:00 時点)

号機	注水状況		原子炉圧力容器 下部温度	原子炉格納容器 圧力*1	原子炉格納容器 水素濃度
1 号機	淡水 注入中	炉心スプレイ系：約 2.0 m ³ /h	16.1 °C	106.8 kPa abs	A系： 0.05 vol%
		給水系：約 2.5 m ³ /h			B系： 0.03 vol%
2 号機	淡水 注入中	炉心スプレイ系：約 2.3 m ³ /h	25.7 °C	6.73 kPa g	A系： 0.04 vol%
		給水系：約 2.0 m ³ /h			B系： 0.03 vol%
3 号機	淡水 注入中	炉心スプレイ系：約 0.0 m ³ /h	22.4 °C	0.22 kPa g	A系： 0.10 vol%
		給水系：約 5.5 m ³ /h			B系： 0.08 vol%

*1：絶対圧(kPa abs) = ゲージ圧(kPa g) + 大気圧(標準大気圧 101.3 kPa)

< 2. 使用済燃料プールの状況 > (1/27 11:00 時点)

号機	冷却方法	冷却状況	使用済燃料プール水温度
1 号機	循環冷却システム	運転中	12.5 °C
2 号機	循環冷却システム	停止中	11.6 °C
3 号機	循環冷却システム	運転中	10.1 °C
4 号機	循環冷却システム	運転中	16.5 °C

※各号機使用済燃料プールおよび原子炉ウエルヘビドラジンの注入を適宜実施。

- ・ H25/11/18 15:18～ 4 号機使用済燃料プールから燃料を取り出す作業を実施中。なお、同作業は平成 26 年末頃まで行う予定。
- ・ H26/1/27 10:18～11:48 2 号機使用済燃料プール代替冷却系の電源切替のため、冷却を停止。停止時の使用済燃料プール水温度は 11.7°C で、停止中に温度の上昇はなし。また、冷却再開後の当該冷却系運転状態に異常はなし。

< 3. タービン建屋地下等のたまり水の移送状況 >

号機	排出元 →	移送先	移送状況
2 号機	2 号機 タービン建屋	→ 3 号機 タービン建屋	1/26 9:33 ～ 移送実施中
3 号機	3 号機 タービン建屋	→ 集中廃棄物処理施設（雑固体廃棄物 減容処理建屋 [高温焼却炉建屋]）	1/24 14:37 ～ 移送実施中

< 4. 水処理設備および貯蔵設備の状況 > (1/27 11:00 時点)

設備	セシウム 吸着装置	第二セシウム 吸着装置 (サリー)	除染装置	淡水化装置 (逆浸透膜)	淡水化装置 (蒸発濃縮)	多核種除去設備 (ALPS)
運転 状況	停止中	運転中*1	停止中	水バランスを みて断続運転	水バランスを みて断続運転	ホット試験中*2

*1 フィルタの洗浄、ベッセル交換を適宜実施。

*2 当面は、3 系列のうち 2 系列による運転を実施することで 2 系列運転の稼働率を向上させていくこととし、準備が整い次第、3 系列の同時運転を実施予定。

< 多核種除去設備 >

- ・ B 系：腐食対策有効性確認のため、H26/1/25 3:22 に処理運転を停止。

< 5. その他 >

- ・ H26/1/28～ 2 号機の燃料取り出し計画検討のため、原子炉建屋オペレーティングフロア内の現場調査を開始予定。

【H4エリアタンク等からの水の漏えい関連】

<トピックス>

- ・ H25/12/10 10:10～ 汚染水拡散の防止策として、H4エリア周辺に設置したウェルポイントから地下水の汲み上げを再開。

<タンクエリアパトロール実績 (1/24～26) >

- ・ 高線量当量率箇所 ($\beta + \gamma$ 線 (70 μ m線量当量率)) は確認されず。
- ・ 堰床部に雨水が溜まった箇所については、雨水による遮へい効果により線量当量率は低い状態となっている。
- ・ 目視点検によりタンク全数に漏えい等がないこと (漏えい確認ができない堰内溜まり水内を除く) を確認。
- ・ 汚染水タンク水位計による常時監視で、タンク水位に異常がないことを確認。

<H4エリア周辺のサンプリング実績>

- ・ H26/1/23 H4エリアタンク周辺の地下水観測孔E-12のサンプリングを実施 (初採取)。分析結果は以下の通り。

[観測孔E-12の分析結果：1/23採取分] 全ベータ：37 Bq/L トリチウム：2,500 Bq/L

- ・ その他の分析結果については、前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

<福島第一構内排水路・南放水口のサンプリング実績>

- ・ 前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

【タービン建屋東側の地下水調査/対策工事の実施状況】

<トピックス>

- ・ 1, 2号機取水口間のウェルポイントおよび集水ピット (南) 地下水から立坑Cおよび2号機タービン建屋への移送量は1/27 0:00時点で約7,415m³ *集水ピット (南) およびウェルポイントの総量

<地下水観測孔サンプリング実績>

- ・ 前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

<移送関係>

- ・ 2, 3号機東側に設置したウェルポイント (バキュームによる強制的な排水設備) からの地下水汲み上げおよび2号機タービン建屋への移送を適宜実施中。
- ・ H25/12/11～ 1, 2号機間護岸エリア地下水観測孔 No. 0-3-2 でトリチウムが検出されていることから、当該観測孔からの地下水の汲み上げを試験的に適宜実施中。
- ・ H26/1/29～ 1, 2号機間護岸エリア地下水観測孔 No. 1-16 で高い濃度の全ベータが検出されていることから、当該観測孔近傍に設置した地下水汲み上げ用の孔 (No. 1-16 (P)) からの地下水の汲み上げを開始予定。

【1～4号機サブドレン観測井の状況】

- ・ 今回新たに採取した2号機原子炉建屋 (山側) のサブドレン (N7) のガンマ核種、全ベータ、トリチウム (1/23採取) の分析を実施。

[サブドレンN7：1/23採取分]

- ・ セシウム134 : 1.1 Bq/L
- ・ セシウム137 : 2.2 Bq/L
- ・ 全ベータ : 検出限界値未満 (検出限界値：13 Bq/L)
- ・ トリチウム : 18 Bq/L

【地下貯水槽からの漏えいに関する情報および作業実績】

<トピックス>

- ・ H25/7/1～ 拡散防止対策およびサンプリングは継続実施中。
- ・ H25/10/3～ 地下貯水槽 No. 1 の汚染範囲調査開始。
- ・ H25/10/23～ 地下貯水槽 No. 6 において浮き上がり対策を実施中。
- ・ H25/11/15～ 地下貯水槽 No. 5 において浮き上がり対策を実施中。
- ・ H25/11/19～ 地下貯水槽 No. 1 において浮き上がり対策を実施中。
- ・ H25/11/28～ 地下貯水槽 No. 3 において浮き上がり対策を実施中。
- ・ H25/12/7～ 地下貯水槽 No. 2 において浮き上がり対策を実施中。
- ・ H25/12/16～ 地下貯水槽 No. 7 において浮き上がり対策を実施中。

<地下貯水槽サンプリング実績>

- ・ 前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

以 上